

株主の皆様へ：取締役会議長メッセージ

東芝の株主の皆様へ

2022年6月から新しい取締役会が発足し、約10週間が経過しました。この間、新しい12名の取締役全員で、東芝を前進させるために懸命に取り組んでまいりました。取締役会議長として、本日取締役会を代表してメッセージをお伝えします。

東芝は「人と、地球の、明日のために。」という優れた経営理念と、顧客や社会のために気概をもって働く優秀な従業員に支えられ、多くの人に愛されている、いい会社であるとの想いを強くしています。しかし、議長に就任してからの実感を述べると、東芝は本当に「いい会社」だが「強い会社」ではない、ということです。そして、強い会社になるための課題は山積みです。

非公開化を含む戦略的選択肢の検討は、まさに、東芝をより強くするために行っているものです。これは同時に、株主をはじめその他すべてのステークホルダーの最善の利益につながる解を導くためのプロセスでもあります。

そのためにも、新しい12名の取締役全員は、新しい取締役会発足以降毎月開催している取締役会や、毎週開催している特別委員会において、東芝を強くする、すなわち東芝の企業価値最大化の実現に向け一致団結し、真剣に取り組んでいます。この検討過程において重要となるガバナンス体制の構築についての見解を述べます。

- 新しい取締役会は、強い東芝をつくるという共通の使命感のもと、多様なバックグラウンドをもつメンバーが個々の視点を生かし、一つのチームとして活動しています。現在の取締役12名はいずれも世界最高水準のメンバーです。国籍・性別・年齢の多様性以上に、企業経験、非公開化を含む企業再生、不正事案を起こした企業の風土改革、プロのキャピタリストなど、様々なキャリアの多様性をもちあわせています。東芝における難しい経営判断の場面を過去に経験してきた取締役と、新たに加わった取締役とがそれぞれリスペクトしあい、一体感をもったチームだという手応えを感じています。
- 取締役会は、東芝の強みの源泉をよりよく把握しようと、積極的に活動しています。私を含めた多くの新任取締役が、6月の就任以降、東芝の工場や研究開発センターなどの現場を視察し、多くの従業員と対話しています。
- 東芝を強くし、その企業価値を最大化するためには抜本的な変革が必要です。そのために取締役会と経営陣は特定のステークホルダーのバイアスをもたず、あらゆる選択肢を検討しています。また、世界最高水準の取締役会と経営陣が、建設的で前向きな議論を行えるように、取締役と経営陣との情報交換を密に行い、ステークホルダーとのコミュニケーションの方針の策定も進めるなど、信頼関係のさらなる向上につとめています。
- 現在の潜在的な投資家およびスポンサー候補との話し合いは、公正かつ透明性の高いプロセスに従って真摯に進めています。今後も、第二次入札に参加されている候補者からはそのような公平なプロセスを通して、戦略的選択肢として最良の提案を得ることを企図しており、東芝の企業価値の最大化を図ってまいります。

私は取締役会議長として、東芝および東芝のすべてのステークホルダーの最善の利益のために、すなわち「人と、地球の、明日のために。」全力で、役割を果たすことをお約束します。

株式会社東芝

取締役会議長

渡辺 章博